

第6学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月28日(金) 2校時
対象 3組(男17名 女18名 計35名)
指導者 井上 学

- 1 主題名 あなたの立場とわたしの気持ち〔寛容・謙虚 2 - (4)〕
- 2 資料名 お別れ会 (出典：学研「みんなのどうとく」6年)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値について

第5学年及び第6学年の指導内容2 - (4)は、「謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること。」となっている。この内容は、より広がりや深まりのある人間関係を築くために必要な、謙虚な心と広い心を育てようとするものである。

社会生活の中で人間関係を広げていくには、自分のことばかりではなく、相手の立場や考えを理解し、調和を図ろうとする気持ちが大切である。自分のことだけを主張し、相手を認めず批判すれば、対立や争いが生じるのは当然であり、円滑な社会生活は望めない。そこで、お互いの立場や考えを理解し、尊重できる広い心をもつことが必要になってくる。たとえ自分とは違う立場や考えの相手であっても、人間として同格であり、尊重すべき人格をもっていることに気付くことで、寛容を深くとらえさせることができる。自分も不完全な人間であることを自覚させ、謙虚な心をもつことによって、相手に対する寛容が得られると考える。

この期の児童は、他者への批判力がついてくる一方で、自己を冷静に見つめるにはまだまだ未熟である。広い心で互いを認め合う大切さを感じ取らせ、内面を豊かに育てたい。

(2) 児童について

学級の児童は、仲が良く、協力的な子が多い。グループ学習や係活動など、様々な話し合い活動の場面で、スムーズに意見交流できる児童が増えてきている。

しかし、相手を気遣い、対立関係を避けるために方便として寛容になったり、自己中心的な考えを押し付けようと理屈をこね強情な態度に出たりすることもまだまだ見られる。

そこで、自分も不完全な人間であり、過ちを犯しやすい存在であることに気付かせるとともに、どんな相手でも尊重すべき人格をもっていることに気づかせ、時には広い心で接することが大切であると考えたい。

(3) 資料について

本資料の主人公である直美は、お別れ会約束の当日、家族ドライブという誘惑に後髪引かれる思いをするも、約束を果たす決心をする。ところが、一步遅かった延期の電話に、友達の約束を大切にしようとした気持ちを踏みにじられてしまう。友達は、都合が悪かったことを弁解したり直美をなだめようとしたりするが、自分を正当化している直美の怒りはおさまらなかった。しかし、時間が経つにつれ、何のためにお別れ会をしようとしていたのか、はじめに返って考え直すうちに、直美は、何となくすっきりとしない気持ちになってしまう。

相手をなかなか許せない直美の気持ちに共感させ、後にすっきりしない気持ちになっていく姿を通して、ねらいとする価値について考えさせるのに適した資料である。

(4) 指導にあたって

事前に、日常生活の中で友達と意見が食い違ったことと、そのときの気持ちについてのアンケートを取り、導入の手がかりとしたい。

気づく段階では、自分達と同じような友達とのトラブルについて、直美の気持ちを追いながら考えていくことを確認する。

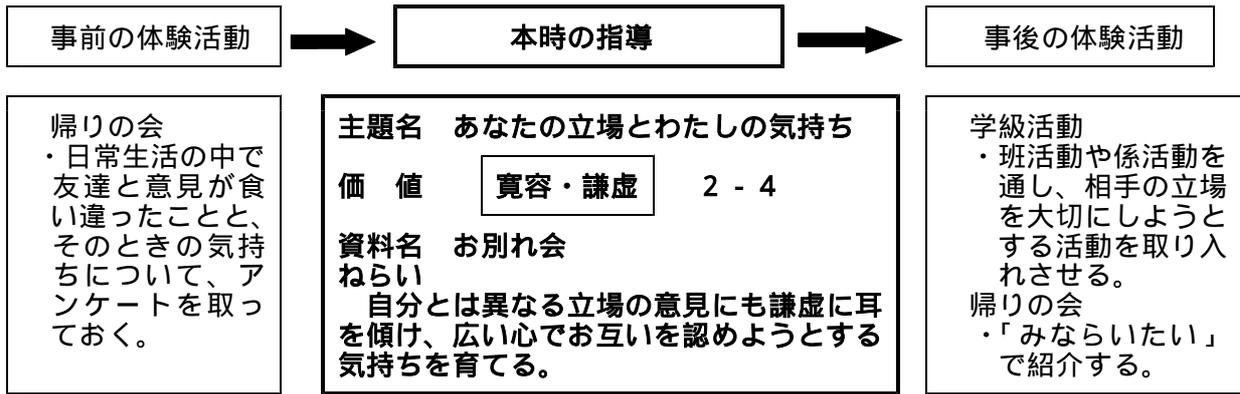
見つめる・つかむ段階では、まず、自分の都合を犠牲にし、友達との約束を最優先させた直美の誠実さに気づかせる。次に、一方的にお別れ会を延期された直美のショックと腹立たしさをしっかりとらえさせる。そのため、自分が一番正しく、友達の言い分を受け入れられなくなる直美の気持ちに十分共感させ、「直美がなんとなくすっきりしない気持ち」になった理由に迫らせたい。また、資料を分割提示することで、直美の気持ちに、より迫らせていきたい。

広げる段階では、本時の価値について、「書く」ことを通して、一人一人の内面に広げたい。

まとめる段階では、穏やかで、相手の意見を尊重している児童の様子を紹介し、今後の実践への意欲付けを図りたい。

事後の活動としては、班や係の活動の中で励ましたり、帰りの会「みならいたい」で紹介したりしながら、お互いの立場を大切にしようとする気持ちを育てていきたい。

4 本時指導の位置付け



5 本時の指導

(1) ねらい

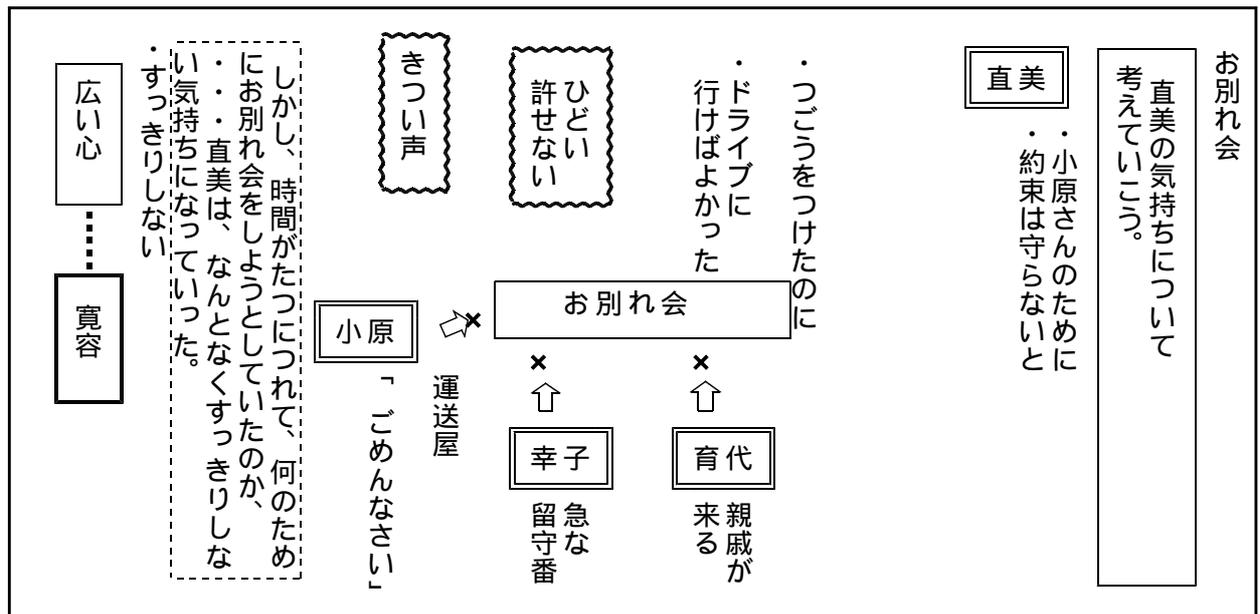
自分とは異なる立場の意見にも謙虚に耳を傾け、広い心でお互いを認めようとする気持ちを育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	予想される発言や心の動き	指導・援助の留意点
気づく 5分	<p>1 友達ともめたときの気持ちについて話し合う。 友達と意見が食い違ったとき、どんな気持ちになりましたか。</p> <p>2 学習課題を確認し、話し合いの方向性をつかむ。 友達とのトラブルについてのお話です。主人公、直美の気持ちを考えていきましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">直美の気持ちについて考えていこう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何で分かってくれないうらな。 ・ 通じないなあ。困ったなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前アンケートを用い、話し合いの手がかりとする。 ・ 誰にでもある身近な問題として捉えられるように意識させる。 ・ 直美の行動や気持ちに着目させながら聞かせる。 ・ 資料を場面ごとに提示することで、直美の気持ちに、より迫らせたい。
見つめる	<p>3 直美の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>お父さんが、急にドライブに行こうと言い出した時、直美はどんなことを考えたでしょう。</p> <p style="margin-top: 20px;">小原さんからお別れ会の延期の電話をもらった時、直美はどんな気持ちになったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族とのドライブは楽しいだろうなあ。 ・ 困ったな。どうしよう。 ・ 家族とはこれからもドライブに行けるけれど、小原さんにはもう会えないかも知れない。 ・ ドライブより友達との約束が大切だ。 ・ こんなことになるなら、ドライブにいけばよかった。 ・ 私は友達との約束を大切にしたのに。自分勝手だ。 ・ もっと早く電話してくれれば、ドライブに行けたのに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達との約束を守るべきか、家族とのドライブに行くべきか迷いながらも、最終的に大の仲良しである小原さんのお別れパーティーを選ぶ直美の気持ちをしっかりと捉えさせる。 ・ 家族とのドライブをあきらめてまでも選んだお別れ会の、一方的な延期の電話にショックを受ける直美の気持ちに共感させる。

<p>つかむ</p> <p>27分</p>	<p>翌日、育代と幸子の理由を聞いた時、直美はどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>直美が、なんとなくすっきりしない気持ちになっていったのは、どうしてでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな自分勝手だ。 ・私だって行きたいドライブをがまんしたのに。 ・絶対に許さない。 ・連絡だってもっと早くできたじゃない。 ・小原さんのためのお別れ会だったのに、小原さんをせめてしまった。 ・もうちょっと冷静になって理由を聞いてあげればよかった。 ・私がもう少しみんなの事情や立場を考えてあげられれば、みんな嫌な気持ちにならなかったんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の理由を受け入れられず、自分が一番正しいと思っている直美の気持ちを十分理解させる。 ・最後の一文を提示し、直美の気持ちの変容に迫らせたい。 ・すっきりしないのは、自分に対してであることをおさえさせたい。 ・直美の予定のことは、誰も知らなかったことや、直美以外の友達の理由も正しいものであることに気付かせる。
<p>広げる</p> <p>10分</p>	<p>4 本時の学習から考えたことを話し合い、寛容で謙虚な気持ちについて考える。 今日の授業で、あなたはどんなことが大切だと思いましたか。プリントに書きましょう。</p> <p>発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや思いを押しつけるだけではなく、相手の気持ちを考えて行動すること。 ・相手のことを考え、言葉できちんと話すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことによって、自分の考えをしっかりともたせたい。 ・机間巡視により、意図的指名を行う。
<p>まとめる</p> <p>3分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p>		<p>日常の観察から穏やかで、相手の意見を尊重できている児童を紹介し、今後の実践への意欲付けを図りたい。</p>

6 板書計画



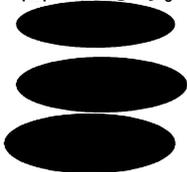
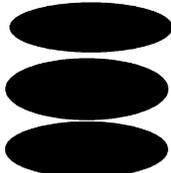
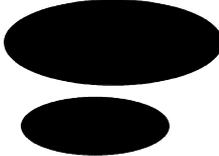
7 資料分析

資料名 お別れ会

出典 (「みんなのどうとく」6年)

・ねらい

自分とは異なる立場の意見にも謙虚に耳を傾け、広い心でお互いを認めようとする気持ちを育てる。

場面	お別れパーティーに出席するか、赤木山へドライブに行くか迷う直美	お別れ会が延期になったという電話をもらう直美	育代と幸子から出席できなくなった理由を聞き、不満がおさまらない直美	時間がたつにつれて、なんとなくすっきりしない気持ちになる直美
外的状況と主人公の心の動き	<p>お父さんが急に、赤城山へドライブにいこうと言いだした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族とのドライブは楽しいだろうなあ。 ・家族とはこれからドライブに行けるけれど、小原さんにはもう会えないかも。 ・ドライブより友達との約束が大切だ。 ・困ったなあ。 	<p>「きょうの午後のお別れ会ね。…悪いけど、のばしてもいい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなことになるなら、ドライブにいけばよかった。 ・私は友達との約束を大切にしたいのに。自分勝手だ。 ・もっと早く電話してくれれば、ドライブに行けたのに。 	<p>翌日、お別れ会が延期になった理由を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな自分勝手だ。 ・私だって行きたいドライブをがまんしたのに。 ・絶対に許さない。 	<p>時間がたつにつれて。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">寛容・謙虚</div> <ul style="list-style-type: none"> ・小原さんのためのお別れ会だったのに、小原さんをせめてしまった。 ・もうちょっと冷静になって理由を聞いてあげればよかった。 ・私がもう少しみんなの事情や立場を考えてあげられれば、みんな嫌な気持ちにならなかったんだ。 
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・しばらくぶりの遠乗りドライブは楽しいだろうなあ。 ・小原さんとはもう会えないかもしれないから、友達との約束が大切だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約束していたのに、延期するなんてひどい。 ・断るならもっと早く連絡するべきだ。 ・友情をとった直美がかわいそうだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ理由はあったんだろうけれど、友達との約束を優先した直美がかわいそうだ。 ・断るならもっと早く連絡するべきだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場をもうちょっと考えてあげられれば、みんな嫌な気持ちにならなかったんだ。 ・自分も、もっと友達の気持ちを考えたり、許してやれる気持ちをもちたいなあ。
発問	お父さんが、急にドライブに行こうと言いだした時、直美はどんなことを考えたでしょう。	小原さんからお別れ会の延期の電話をもらった時、直美はどんな気持ちになったでしょう。	翌日、育代と幸子の理由を聞いた時、直美はどんな気持ちになったでしょう。	直美が、なんとなくすっきりしない気持ちになっていったのは、どうしてでしょう。

(中心発問)